



AUTODOME IP 5000 IR

NEZ-5x30-IRxx4



BOSCH

目次

1	安全にご使用いただくために	4
1.1	安全に関する表示	4
1.2		5
1.3	利用時における各接続	5
1.4	重要な通知 - 安全照明	5
1.5		5
1.6	カスタマサポートおよびサービス	6
1.7	本マニュアルについて	6
1.8	法的情報	6
2	開梱	8
2.1	パーツ一覧	8
2.2		8
3	製品の説明	9
4	取付アクセサリ	10
5	設置の概要	11
6		12
7	microSD カードのインストール (オプション)	13
8	壁面マウントとカメラの設置	15
8.1	パーツ一覧	15
8.2	設置要件	15
8.3	設置のための壁の準備	15
8.4	壁面マウントの設置	15
9	パイプマウントとカメラの設置	19
9.1	パーツ一覧	19
9.2	設置要件	19
9.3	設置のための天井の準備	19
9.4	パイプマウントの設置	19
10	接続	23
11	トラブルシューティング	25
12	メンテナンス	27
13	使用停止	28
13.1	譲渡	28
13.2	廃棄	28
14		29

1 安全にご使用いただくために

1.1 安全に関する表示

本マニュアルでは、注意を促す必要がある場合、以下の記号と表記を使用しています。



危険!

高レベルの危険：製品内の「危険電圧」など、差し迫った危険な状況を示します。指示に従わなかった場合は、感電、重度の怪我、または死亡事故に至るおそれがあります。



警告!

警告：この記号は「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、軽度または中程度の傷害を負う危険があります。



注意!

注意：この記号は「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。指示に従わなかった場合は、物的損害を被ったり、本機が損傷したりする危険があります。



注意!

この記号は、ユーザーの安全または所有物の保護に直接的または間接的に関係のある情報または企業ポリシーを示してします。

1.2

1.3 利用時における各接続

1.4 重要な通知 - 安全照明

IEC 62471 には、ランプまたはランプを内蔵する製品のリスクグループの決定方法が規定されています。IEC 62471 のリスクグループは、予想される光学放射の危険性のリスクの程度を示します。リスクグループは、数十年間のランプ使用経験と光学放射工ミッションに関する偶発的な怪我の分析を基にして開発されました。

除外グループ - 継続的に無制限に使用する場合でも、合理的に予測可能な光学的危険性は認められません。一般的な例として、屋内で使用されるほとんどのつや消し白熱電球および蛍光灯があります。

露出危険値 (EHV) は、露出レベル (距離、露出時間) と露出制限値 (ELV) の比率です。EHV が 1 より大きい場合、本機は特定のリスクグループの露出制限値を超えています。ELV は、目または皮膚に対する光学放射の結果として生物学的な悪影響が予想されないレベルです。

障害距離 (HD) は、露出レベルと ELV がほぼ等しくなる光源からの距離です。つまり、特定のリスクグループで EHV=1 になる状況です。

本製品の角膜 / レンズ赤外線障害に関して、除外グループの露出制限に基づくテスト距離 200mm の露出危険値 (EHV) は、2.19 です。リスクグループ 1 の制限に基づく EHV は 0.386 です。除外グループの HD は 297mm です。

次の表にこれらの値の要約を示します。

1.5

1.6 カスタマサポートおよびサービス

本機の修理が必要な場合、最寄りの Bosch Security Systems サービスセンターにご連絡いただき、修理手続きについて、ご確認ください。

サービスセンター

USA

電話:800-366-2283 または 585-340-4162

FAX:800-366-1329

E-メール : cctv.repair@us.bosch.com

カスタマーサービス

電話 : 888-289-0096

FAX : 585-223-9180

E-メール : security.sales@us.bosch.com

テクニカルサポート

電話 : 800-326-1450

FAX : 585-223-3508 または 717-735-6560

E-メール : technical.support@us.bosch.com

修理センター

電話 : 585-421-4220

FAX : 585-223-9180 または 717-735-6561

E-メール : security.repair@us.bosch.com

カナダ

電話 : 514-738-2434

FAX : 514-738-8480

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域

お近くの販売代理店または Bosch 販売オフィスにお問い合わせください。詳しくは、以下をご参照ください。

<http://www.boschsecurity.com/startpage/html/europe.htm>

アジア太平洋地域

お近くの販売代理店または Bosch 販売オフィスにお問い合わせください。詳しくは、以下をご参照ください。

http://www.boschsecurity.com/startpage/html/asia_pacific.htm

その他の情報

詳細については、Bosch Security Systems までお問い合わせいただくか、www.jp.boschsecurity.com をご覧ください。

1.7 本マニュアルについて

本マニュアルは細心の注意を払って作成されており、記載されている情報については十分な検証を行っています。テキストについては印刷の時点で誤字脱字がないことを確認しています。製品開発は継続的に進められている関係上、マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。Bosch Security Systems は、誤記、不完全な記述、またはマニュアルと対象製品の間の不一致によって直接的または間接的に発生する損害について一切責任を負いません。

1.8 法的情報

著作権

本マニュアルは、Bosch Security Systems, Inc.の知的財産であり、著作権で保護されています。All rights reserved.

商標

本書で使用されているすべてのハードウェアおよびソフトウェアの製品名は登録商標である可能性があります。これらに対して適切な取り扱いが必要になります。

2 開梱

- 本機は十分に注意して取り扱い、開梱してください。梱包に明らかな損傷がないか確認してください。製品出荷時に生じたと思われる損傷がある場合は、すぐに発送元までお問い合わせください。
- 下記のパーツ一覧に記載された付属品がすべて揃っていることを確認してください。不足品がある場合は、Bosch Security Systems の営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお知らせください。
- 部品のいずれかに損傷があると思われる場合は、その製品を使用しないでください。製品に損傷がある場合は、Bosch Security Systems までお問い合わせください。
- この梱包箱は、この製品を輸送するうえで安全上最も適しています。修理のために製品を返送する際は必ずこの梱包箱を使用してください。梱包箱は大切に保管しておいてください。

2.1 パーツ一覧

2.2

3 製品の説明

Bosch の赤外線技術が内蔵された AUTODOME IP 5000 IR カメラは、セキュリティを重視した機能を多く備えています。このカメラは、日中に鮮明な 720p25/30 または 1080p25/30 の HD 画像を提供するように細かく調整されており、低光量または無光量の条件下でも内蔵赤外線照明によって細部を捉えます。インテリジェントな赤外線照明により、ズームや視野に応じて赤外線照射レベルを自動的に調整し、シーンに対する照射を均一化します。

4 取付アクセサリ

5 設置の概要



注意!

設置は、有資格のサービススタッフが行うこと、および ANSI/NFPA 70 (National Electrical Code® (NEC))、Canadian Electrical Code の Part I (CE Code や CSA C22.1 と呼ばれます)、および該当する地域のすべての法規に従うことが必要です。Bosch Security Systems, Inc.は、誤った設置や不適切な設置によって発生する損傷や損失について一切責任を負いません。

1.取り付ける場所を選択します。

本機を安全に設置できる場所と取付位置を選んでください。意図的にも偶発的にも干渉されることがない場所が理想的です。

- ▶ 予想されるすべての負荷、振動、温度でカメラと取付ハードウェア (別売) を合わせた重量を支えることができる設置面が選択されていることを確認してください。

6

7 microSD カードのインストール (オプション)

1. カメラハウジングの背面にある 2 本の六角ねじを取り外します。

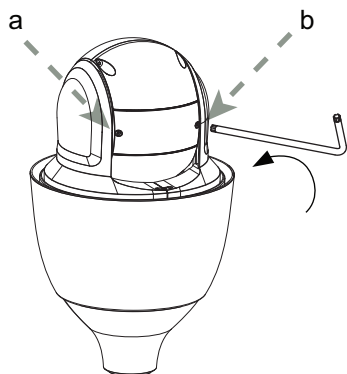


図 7.1: ねじの取り外し

2. ハウジングカバーを取り外します。

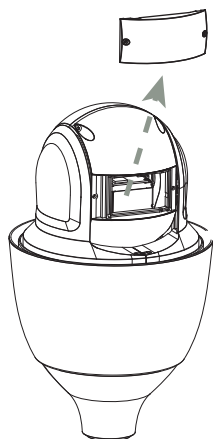


図 7.2: ハウジングカバーの取り外し

3. カードをスロットに挿入します。

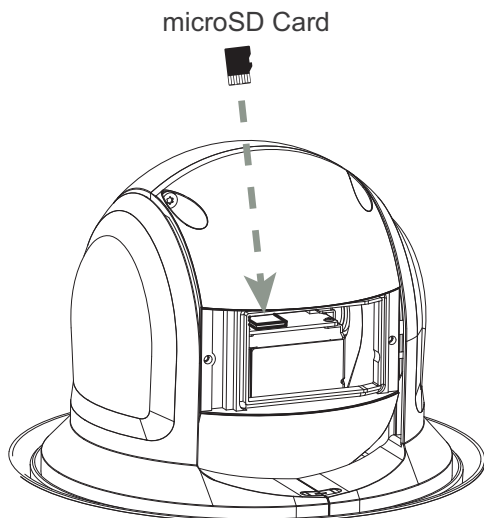


図 7.3: スロットへのカードの挿入

4. ハウジングカバーを元の位置に取り付けます。

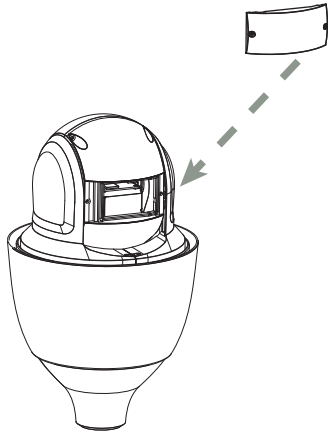


図 7.4: ハウジングカバーの元の位置への取り付け
5. ハウジングカバーのねじを締めます。

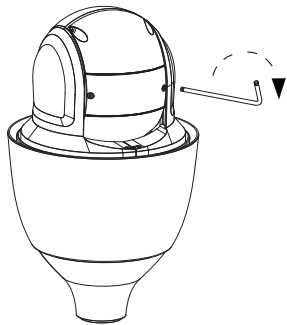


図 7.5: ねじの締め付け

8 壁面マウントとカメラの設置

8.1 パーツ一覧

壁面マウント (VEZ-A5-WMB) には以下の部品が含まれています。

数量	項目
1	壁面マウント (セーフティワイヤー付き)
1	テフロンテープ (3/4×260 インチ)
1	シリコングリース (5g 入り)
4	M10x25L プラスドライバー
1	ゴムガスケット
1	設置マニュアル
4	壁面取付具 (市販品)

8.2 設置要件

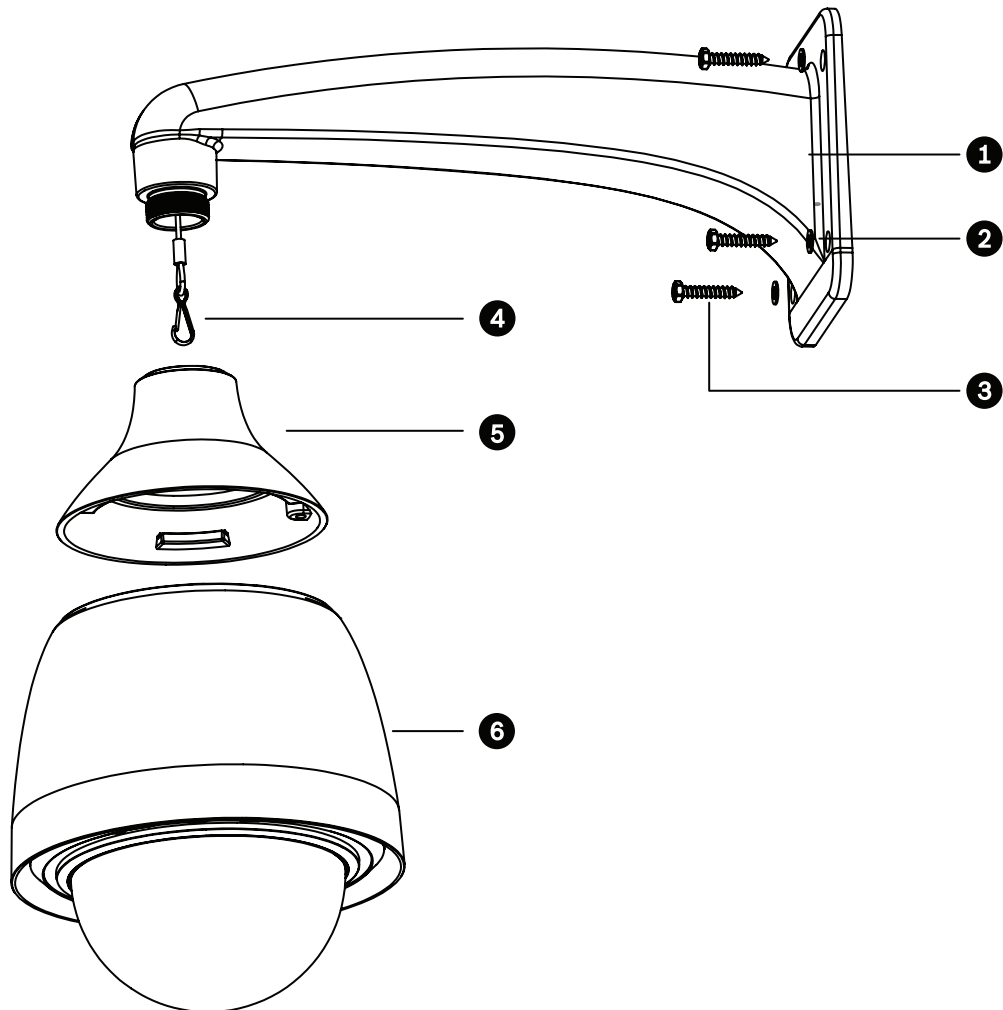
- 取付ねじを取り付けられる十分な厚さがある壁。
- カメラ (4kg) の最低 8 倍の荷重 (32kg 超) に耐えられる壁。

8.3 設置のための壁の準備

1. 壁面マウントに適した安全な場所を決定します。壁にケーブルに適した穴が開いていることを確認してください。
2. 壁面マウントのゴムガスケットをテンプレートとして使用して、壁面マウントの 4 本の取付ねじ (および必要な場合は壁面取付具 (市販品)) 用の穴とケーブル用の穴を開けるための位置を壁にマーキングします。
3. 穴を開けます。
4. 乾式壁ユーティリティのこぎりまたは糸のこを使用して、ケーブルに適した大きさの穴を開けます。
5. 手順 2 でマーキングした場所に壁面取付具 (市販品) を挿し込みます (必要な場合) 。

8.4 壁面マウントの設置

次の図は、壁面マウントに必要な部品を示しています。手順については、その下を参照してください。



1	壁面マウント基部	4	セーフティワイヤー
2	ワッシャ (4つ)	5	アダプター / 取付キャップ
3	M10x25L プラスねじ (4つ)	6	カメラ

1. T15 トルクドライバーを使用して、カメラの端部から取付キャップを取り外します。
2. 10 番ねじ (市販品) を使用して、アース取り付け用ラグ (市販品) を取付キャップの内部のスタンドオフに取り付けます。その際、丸で囲まれたアース記号の位置に取り付けます。
3. 10 番ねじ (付属) を使用して、セーフティワイヤー (カメラに付属) の丸いほうの端を取付キャップの内部のスタンドオフに取り付けます。その際、丸で囲まれていないアース記号の位置に取り付けます。
4. 壁面マウント基部 (1) と壁の間にゴムガスケットを置きます。M10x25L ねじ (4) とワッシャ (3) を使用して、構造物に壁面マウントを固定します。
5. 壁面マウント基部のねじ山にテフロンテープを巻きつけます。
6. 壁面マウント基部のねじ山に巻いたテフロンテープの上からシリコングリースを塗ります。グリースが均一に塗られていることを確認してください。

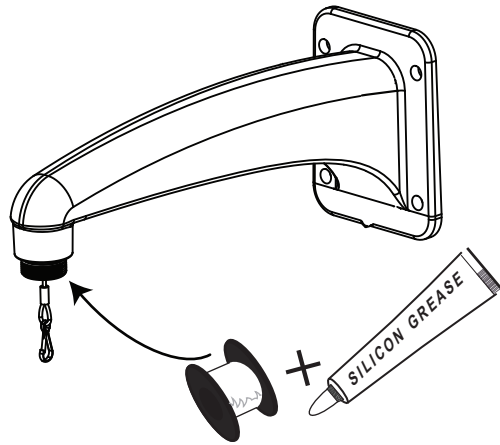


図 8.1: 壁面マウントのねじ山へのテープの巻き付けとグリースの塗布
7. 取付キャップを壁面マウントの端部に取り付けます。

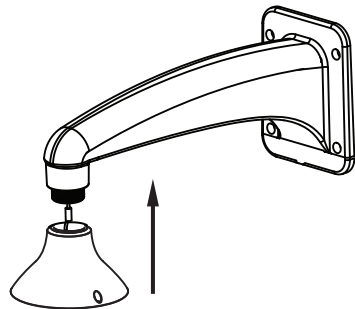


図 8.2: 壁面マウントへの取付キャップの取り付け
8. 壁面マウント内にすべての接続ケーブルを通します。

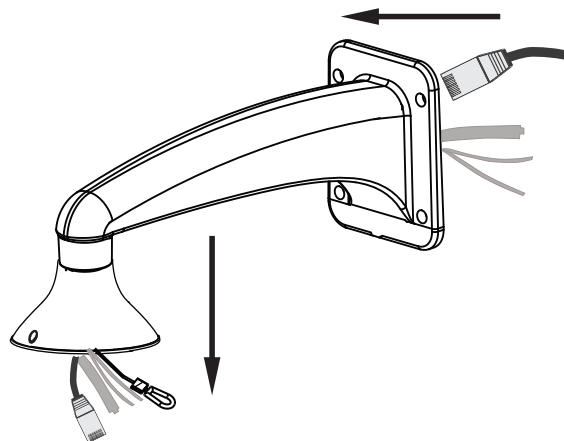
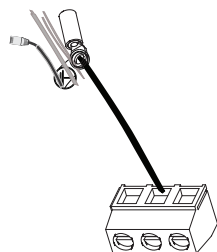


図 8.3: 壁面マウントのケーブル配線
9. セーフティワイヤーの端のフックをカメラ上部に取り付けたループに掛けます。



アース線

1. 取付キャップ内にカメラの上部を押し込みます。
2. カメラを時計回りに約 15°回転させ、所定の位置にしっかりとロックします (次の図の項目 1)。
3. T15 トルクスドライバーを使用して、安全ロックねじを締めます (次の図の項目 2)。

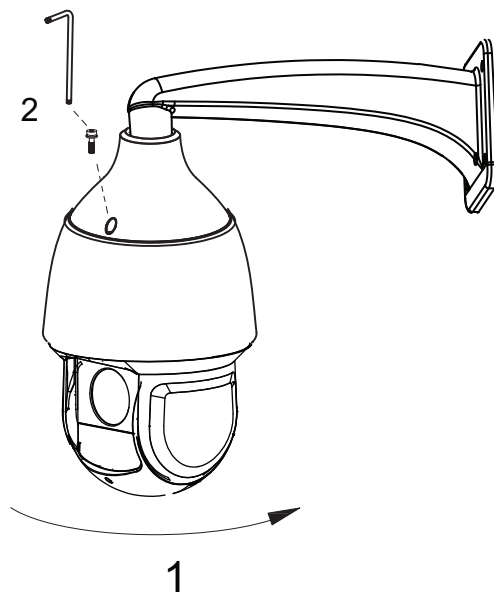


図 8.4: カメラのマウントへの固定

4. カメラウィンドウと IR ウィンドウから保護用のビニールシートを取り外します。

参照項目:

- 接続, ページ 23

9 パイプマウントとカメラの設置

9.1 パーツ一覧

パイプマウント (VEZ-A5-PP) には以下の部品が含まれています。

数量	項目
1	パイプマウント基部(セーフティワイヤー付き)
1	延長パイプ (300mm)
1	延長パイプ (200mm)
1	M38-M38 接続リング
1	M38-M33 接続リング
1	テフロンテープ (3/4×260 インチ)
1	シリコングリース (5g 入り)
4	M10x25L プラスねじおよびワッシャ
1	ゴムガスケット
1	設置マニュアル

9.2 設置要件

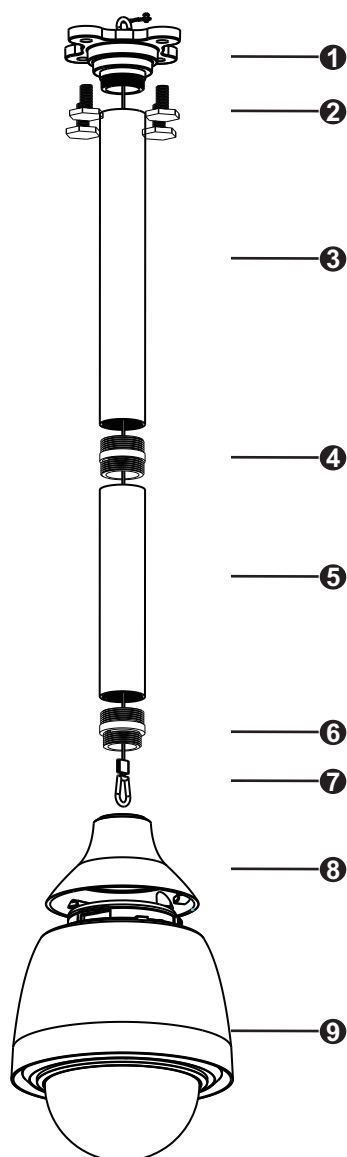
- 取付ねじを取り付けられる十分な厚さがある天井。
- カメラ (4kg) の最低 8 倍の荷重 (32kg 超) に耐えられる天井。

9.3 設置のための天井の準備

1. パイプマウントに適した安全な場所を決定します。天井または取付構造物にケーブルに適した穴が開いていることを確認してください。
2. パイプマウントのゴムガスケットをテンプレートとして使用して、パイプマウントの 4 本の取付ねじ (および必要な場合は壁面取付具 (市販品)) 用の穴とケーブル用の穴を開けるための位置を天井にマーキングします。
3. 穴を開けます。
4. 乾式壁ユーティリティのこぎりまたは糸のこを使用して、ケーブルに適した大きさの穴を開けます。
5. 手順 2 でマーキングした場所に壁面取付具 (市販品) を挿し込みます (必要な場合) 。

9.4 パイプマウントの設置

次の図は、パイプマウントに必要な部品を示しています。手順については、その下を参照してください。



1	パイプマウント基部	6	M38-M33 パイプコネクター
2	M10x25L プラスねじ (4 つ)	7	セーフティワイヤー
3	延長パイプ (300mm)	8	アダプター / 取付キャップ
4	M38-M38 パイプコネクター	9	カメラ
5	延長パイプ (200mm)		

1. T15 トルクスドライバーを使用して、カメラの端部から取付キャップを取り外します。
2. 10 番ねじ (市販品) を使用して、アース取り付け用ラグ (市販品) を取付キャップの内部のスタンドオフに取り付けます。その際、丸で囲まれたアース記号の位置に取り付けます。
3. 10 番ねじ (付属) を使用して、セーフティワイヤー (カメラに付属) の丸いほうの端を取付キャップの内部のスタンドオフに取り付けます。その際、丸で囲まれていないアース記号の位置に取り付けます。
4. パイプマウント基部 (1) と天井の間にゴムガスケットを置きます。4 つの M10x25L ねじおよびワッシャを使用して、パイプマウント基部とゴムガスケットを天井または取付構造物に固定します。

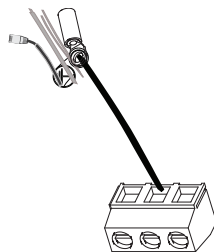
5. パイプマウント基部のねじ山にテフロンテープを巻きつけます。
6. パイプマウント基部のねじ山に巻いたテフロンテープの上からシリコングリースを塗ります。グリースが均一に塗られていることを確認してください。
7. 天井または取付構造物からカメラを吊り下げる距離 (200mm、300mm、500mm) を決めます。
200mm または 300mm の場合 :
 1. 適切な延長パイプ (3 または 5) を選択します。
 2. 延長パイプをパイプマウント基部 (1) に締め込みます。
 3. M38-M33 コネクター (6) の両端のねじ山にテフロンテープを巻きつけます。
 4. M38-M33 コネクター (6) の両端のねじ山に巻きつけたテフロンテープの上からシリコングリースを塗ります。グリースが均一に塗られていることを確認してください。
 5. 延長パイプの下端に M38-M33 コネクター (6) を締め込みます。
- 500mm の場合 :**
 1. 300mm の延長パイプ (3) をパイプマウント基部 (1) に締め込みます。
 2. M38-M38 コネクター (4) の両端のねじ山にテフロンテープを巻きつけます。
 3. M38-M38 コネクター (4) の両端のねじ山に巻きつけたテフロンテープの上からシリコングリースを塗ります。グリースが均一に塗られていることを確認してください。
 4. 300mm の延長パイプの下端に M38-M38 コネクター (4) を締め込みます。M38-M38 コネクターの逆側に 200mm の延長パイプ (5) を締め込みます。
 5. M38-M33 コネクター (4) の両端のねじ山にテフロンテープを巻きつけます。
 6. M38-M33 コネクター (4) の両端のねじ山に巻きつけたテフロンテープの上からシリコングリースを塗ります。グリースが均一に塗られていることを確認してください。
 7. 200mm の延長パイプの下端に M38-M33 コネクター (6) を締め込みます。

**注意!**

セーフティワイヤー (7) が延長パイプ内を通っていて、ワイヤーの端のアイレットが M38-M33 コネクター内を通っていることを確認してください。

すべての距離が対象 :

1. 取付キャップをパイプマウントの下部 (M38-M33 コネクター) に取り付けます。
2. パイプマウント基部の上部から延長パイプおよび取付キャップ内にすべての接続ケーブルを通します。
3. セーフティワイヤーの端のフックをカメラ上部に取り付けたループに掛けます。

**アース線**

1. 取付キャップ内にカメラの上部を押し込みます。
2. カメラを時計回りに約 15° 回転させ、所定の位置にしっかりとロックします (次の図の項目 1)。
3. T15 トルクドライバーを使用して、安全ロックねじを締めます (次の図の項目 2)。

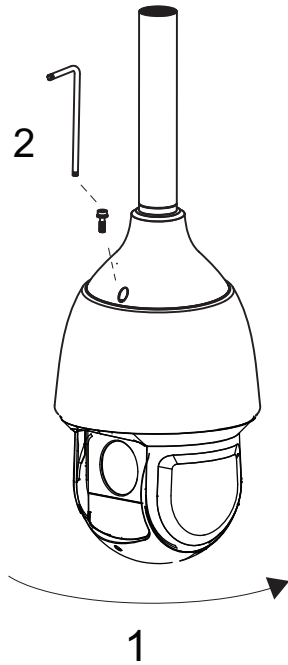


図 9.1: カメラのマウントへの固定

4. カメラウィンドウと IR ウィンドウから保護用のビニールシートを取り外します。

参照項目:

- 接続, ページ 23

10 接続



警告!

Bosch 製品での PoE+

PoE+またはミッドスパンデバイスからカメラに電源を供給する場合は、追加のサージ保護の設置が必要です。



警告!

Bosch のバージョンの High PoE:

HPoE または Midspan デバイスからカメラに電源を供給する場合は、追加のサージ保護の設置が必要です。



注意!

EN50130-4 アラーム標準- セキュリティ用途向け CCTV への準拠

EN50130-4 アラーム標準の要件を満たすために、補助用の無停電電源装置 (UPS) が必要です。UPS は、製品のデータシートで指定された切り替え時間が 2~6 ミリ秒で、電源レベルのバックアップランタイムが 5 秒以上である必要があります。

注意：ケーブルバンドルの要件および制限については、米国電気工事規程 (NEC) を参照してください。

- ▶ ケーブルをカメラの AC 24V の配線に接続します。

ラベル ID	説明	ケーブル配線色
AC24V	AC 24V	赤
AC24V	AC 24V	黒
EARTH	アース (接地)	黄 / 緑

- ▶ イーサネットケーブルをカメラの RJ45 コネクターに接続します。次の図は、通常システム構成を示しています。

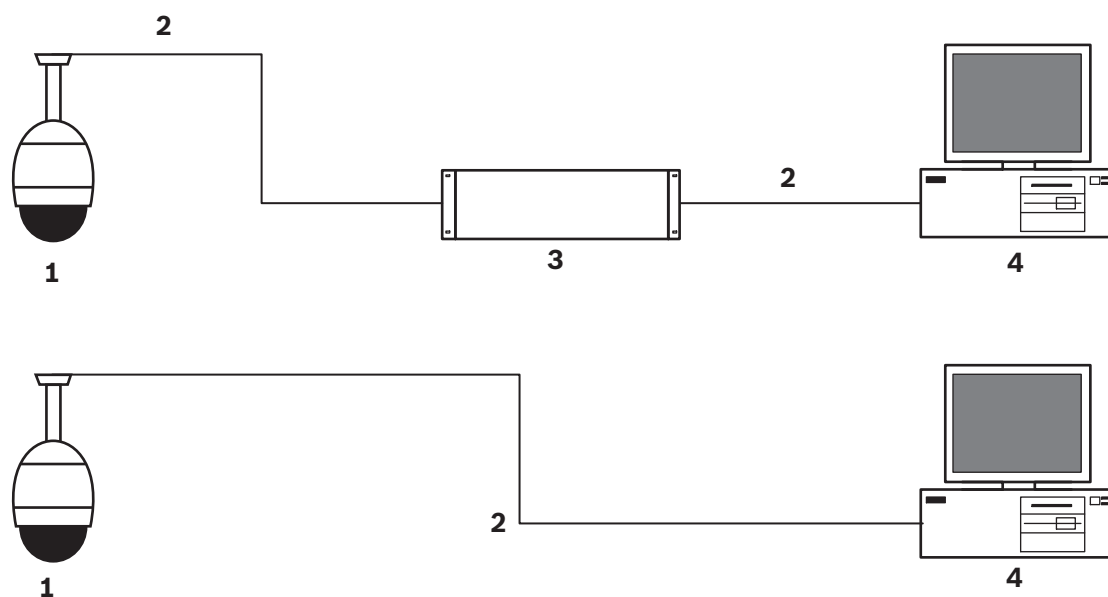


図 10.1: AUTODOME IP システム構成

1	AUTODOME カメラ
2	IP 接続 (イーサネット / CAT5 / CAT6) (最大 100m)
3	ネットワークスイッチ
4	ネットワークデバイス (モニター付きコンピューター、DVR / NVR など)

▶ 必要に応じて、次の表に従ってアラーム / 音声の配線を接続します。

ラベル ID	説明	ケーブル配線色
ALARM_COM	アラーム通信	赤
ALARM_OUT	アラーム出力	茶
ALARM_IN1	アラーム入力 1	白
ALARM_IN2	アラーム入力 2	青
AUDIO OUT	音声出力	グレー
GND	アース	黒
AUDIO GND	アース (音声)	緑
AUDIO IN	音声入力	紫

11 トラブルシューティング

AUTODOME カメラの使用に際して問題が発生した場合は、以下を参照してください。これらのガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	質問 / 問題を解決するための作業
トリムリングを取り外す必要がある	マイナスドライバーでクリップを外側に押しながら、トリムリングの端を慎重に引き下げます。
画面に何も表示されない	電源コードやカメラとネットワークの間のケーブルは正しく接続されていますか。
画面の画像がぼやけている	レンズが汚れていませんか。汚れている場合は、柔らかい清潔な布で拭いてください。
画面のコントラストが弱すぎる	モニターのコントラスト機能を調整してください。カメラに強い光が当たっていませんか。その場合は、カメラの位置を調整してください。
画面の画像がちらつく	カメラに日光や蛍光灯の光が直接入っていませんか。その場合は、カメラの位置を調整してください。
画面の画像が歪んでいる	電力周波数が正しく同期していますか。電力周波数が正しく設定されていない場合、ラインロック同期モードは使用できません。LL モードで、同期モードを内部 NTSC モデルの電力周波数である 60Hz に設定します。
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> - 電源装置に主電力が供給されていることを確認します。 - Web ページが表示されるか確認します。 表示されない場合、IP アドレスが正しくない可能性があります。Configuration Manager を使用して、正しい IP アドレスを確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - 電源から 24V 出力が供給されていることを確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - カメラに接続するすべての配線と連結コネクタを確認します。
カメラ制御が機能しない	<ul style="list-style-type: none"> - LAN ケーブルが正しく、しっかり接続されていることを確認します。 - ブラウザーをリフレッシュし、映像が更新されることを確認します。 - カメラの IP アドレスに対して ping を実行し、カメラの制御を再度試みます。
他のカメラの移動にあわせてカメラが動く	<ul style="list-style-type: none"> - カメラの IP アドレスが正しく設定されているか確認します。 カメラの IP アドレスが設定されていない場合： <ul style="list-style-type: none"> - Configuration Manager を使用して、2 つのカメラが同じ IP アドレスを共有していないことを確認します。同じ IP アドレスを共有している場合は、一方のカメラのアドレスを変更します。
画像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> - [設定] メニューで、ゲイン調整が [高] に設定されているか確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - [設定] メニューで、[オートアイリス] が適切なレベルに設定されていることを確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - カメラのレンズカバーが外されていることを確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - イーサネットケーブルの最大長を超えていないことを確認します。 正常な場合： <ul style="list-style-type: none"> - [設定] メニューですべてのカメラ設定を復元します。

問題	質問 / 問題を解決するための作業
背景が明るすぎて被写体を視認できない	<ul style="list-style-type: none"> - [設定] メニューで逆光補正をオンにします (または 20 Aux オン / オフを使用)。
映像で垂直同期ずれ、ノイズ、またはゆがみが発生する	<ul style="list-style-type: none"> - 周波数を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - [設定] ページで [詳細モード] をクリックします。 - [カメラ] をクリックしてから、[インストーラメニュー] をクリックします。 - [ベースフレームレート] フィールドで、25ips または 30ips を選択します。 - イーサネットケーブルのすべてのコネクタと接合子 (スプライス) に異常がないか確認します。 <p>正常な場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - Bosch テクニカルサポートに問い合わせます。
プライバシーマスクを使用するときのプライバシーの欠如	<ul style="list-style-type: none"> - Web ブラウザー、BVC、または BVMS <ul style="list-style-type: none"> - マスクを元の位置に合わせるには、[特殊機能] メニューの [ホームを検索] キーを押します。 - Intuikey (キーボードが BVC または BVMS に接続されているとき) <ul style="list-style-type: none"> - マスクを元の位置に合わせるには、SetScene 110 コマンドを実行します。
ネットワーク接続なし	<ul style="list-style-type: none"> - すべてのネットワーク接続を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - 任意の 2 か所のイーサネット接続の間隔が、最大でも 100m 以下であるか確認します。 <p>正常な場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - ファイアウォールを使用している場合、映像伝送モードが UDP に設定されているか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> - IP 対応デバイスの場合は [設定] Web ページにアクセスします。 - [サービス設定] リンクを展開し、[ネットワーク] をクリックします。 - [映像伝送] ドロップダウンリストで [UDP] を選択します。その後 [セット] をクリックします。

12 メンテナンス

ドームカバーは、アクリル製かポリカーボネート製です（用途によって異なります）。ポリカーボネート製のドームカバーは耐衝撃性に優れており、表面は柔らかく、透明度はガラスやアクリルに匹敵します。すべてのドームカバーは、取り扱いや清掃の際には傷を付けないように特に注意が必要です。



注意!

ハウジング内部に過度の湿気が充満することを避けるために、ドームカバーがハウジングから外されている時間を制限します。ドームカバーをハウジングから取り外す時間を5分以内にするをお勧めします。

ドームカバーの取り扱い

ドームカバーは保護用のビニールシートで梱包されている場合があります。ドームカバーを取り付ける準備ができるまで、ビニールシートを外さないでください。傷が付くと、視認性に影響する可能性があります。そのため、ドームカバーの取扱いは慎重に行ってください。

ドームカバーの清掃

ドームカバーの清掃が必要な場合は、次の手順を実行し、以下の警告のすべてに従ってください。

ドームカバー内部の清掃

内部の表面は非常に柔らかいので、布でこすったり拭いたりしないでください。（できれば、スプレー缶から）清潔な圧縮空気を使用して、内部の表面のほこりを取り除いてください。



警告!

アルコール入りの液剤を使用してドームカバーを清掃しないでください。それによって、ポリカーボネートが曇ったり、消耗が早まったりして、ドームカバーが壊れやすくなります。

ドームカバー外部の清掃

ドームカバー外部は、保護を強化するためにハードコートされています。清掃が必要な場合は、安全ガラスレンズの清掃に適した清掃用液剤と布のみを使用してください。表面を傷つけない乾いた布でドームカバーを完全に乾かし、ウォータースポットができないようにしてください。絶対に研磨剤やクリーナーでドームカバーをこすらないでください。

ドームカバーの外部は、製造元の指示に従って、NOVUS「No. 1」Plastic Clean & Shine（または同等品）で清掃することをお勧めします。注文またはお近くの販売代理店については、www.novuspolish.com を参照してください。

注意

- 直射日光の下や非常に気温の高い日にドームカバーを清掃しないでください。
- ドームカバーに研磨剤や強いアルカリ性のクリーナーを使用しないでください。
- かみそりやその他の鋭利な器具でドームカバーをこすらないでください。
- ドームカバーにベンジン、ガソリン、アセトン、四塩化炭素を使用しないでください。

13 使用停止

13.1 譲渡

このユニットを譲渡する場合は、必ずこの『設置マニュアル』を添付してください。

13.2 廃棄



古い電気・電子機器

すでに修理対応が終了した電気・電子装置は分別して収集し、環境適合のリサイクルに出すことが義務付けられています (電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令に準拠)。

古い電気・電子装置の廃棄には、各国が導入する回収システムを利用してください。



14

Bosch Security Systems, Inc.

1706 Hempstead Road

Lancaster, PA, 17601

USA

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems, Inc., 2015

Bosch Sicherheitssysteme GmbH

Robert-Bosch-Ring 5

85630 Grasbrunn

Germany